

プラント配管材料集計の効率化

「建設現場の煩雑業務を改善し、理想的な働き方改革を目指す」

是松 和幸

1 はじめに

昨今の急速な社会変化により、日本企業は労働人口減少や、労働生産性向上といった課題に際し、プラント業界では他の分野と違い未だに昔ながらの手法で仕事をしている場合がありますが、今後テレワーク、働き方改革、オンライン、ジョブ型雇用など企業はデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)への新しい取組みが求められています。

特に、テレワークになると守秘義務の観点から、紙、データ問わず持ち帰れない等の問題が生じます。2DCAD によるプラント配管材料集計業務の場合、紙出力された図面を見て手入力しているケースが多く情報漏洩になりかねない為、図面等をクラウドで保存された図面データを PC 上で処理できるシステムがあれば、安全性を確保した上で高速で確実にこなせるようになります。

2 材料集計の問題点

プラント分野では、複数の業者が設計を分担している場合が多く、一般的にこれらの業者は、互換性が異なる CAD ソフト(3DCAD 含める)を使用している場合があります。そのため紙出力されたスプール図の部品表から品名、材料や長さ個数等を作業者が拾い出し、表計算ソフトに手入力して集計、帳票を作成していた。そのため、これらの作業による作業が煩雑で時間を要するとともに、作業者ごとに入力転記する際に癖があり集計できないミスも発生していた。

複数人作業 (作業により品名、材質等文字列の座標位置の違い)

(異形サイズ表記(11/2B×3/4B)、半角、全角、空白スペース違い)

転記(入力疲れ)による見間違い (サイズ: 12B→10B) (材質: SUS304L, SUS316, SUS304TP-S)

新規プラントの場合、主に 3DCAD で設計しますが、現場での手直し、定修、改造、保全工事では、2DCAD でスプール図を作成、修正することも多い。

配管材料管理する場合、3D, 2DCAD の両方に言えますが、工事完了するまでに材料集計する際に少なくとも複数回は行う必要があります。大まかな流れは下記の通りが考えられます。

材料手配する会社が(エンジ会社、設計会社、工事会社)配管材料と Rev を工事完了まで常に把握できるかがカギとなります。

材料集計を行うタイミング:

- ① 最初の材料手配する際
- ② 工事途中(現場での設計変更などによる材料不足は無い、P&ID変更によるタグNoは合っているか)
- ③ 工事完成後(当初の見積と完成との材料差分チェック)

現場で変更などが出た場合に、3DCAD で修正(現場には 3DCAD が無い場合を想定)を行う際にタイムラグが生じ、工事の要求に追いつかない為、2DCAD で修正すると 3DCAD との齟齬が生じ材料の不足分を把握出来ない状況になりかねません。表計算ソフト入力後、塗り込みチェック、集計する日数が掛かり、すぐに材料入手できないケースもあり、工程遅れが考えられます。

3 開発の経緯

スプール図をデータとして捉えて部品表を抽出する必要がありました。

2DCAD で作成された何百枚、何千枚あるスプール図の部品表拾い出しを、複数人で表計算ソフトに手入力、マージし、入力データチェック後、DB、BM 計算式入力、集計、帳票転記を行う作業を行い、膨大な入力時間と見間違いやデータチェック(塗りつぶし)等に要していました。

3DCAD であれば、3 次元形状に属性情報が付加されており部品表を出力することは可能だが、2DCAD では単に線分、円、文字列であるため、CAD の標準機能では不可能であり、市販ソフトもプラント配管専用では存在せず、常に最新スプール図を早く正確に抽出するツールが必要でありました。

また、3DCAD(EYECAD®, Isogen®)で出力されたスプール図を現場にて 2DCAD で手直した場合、2DCAD から材集する必要がありました。

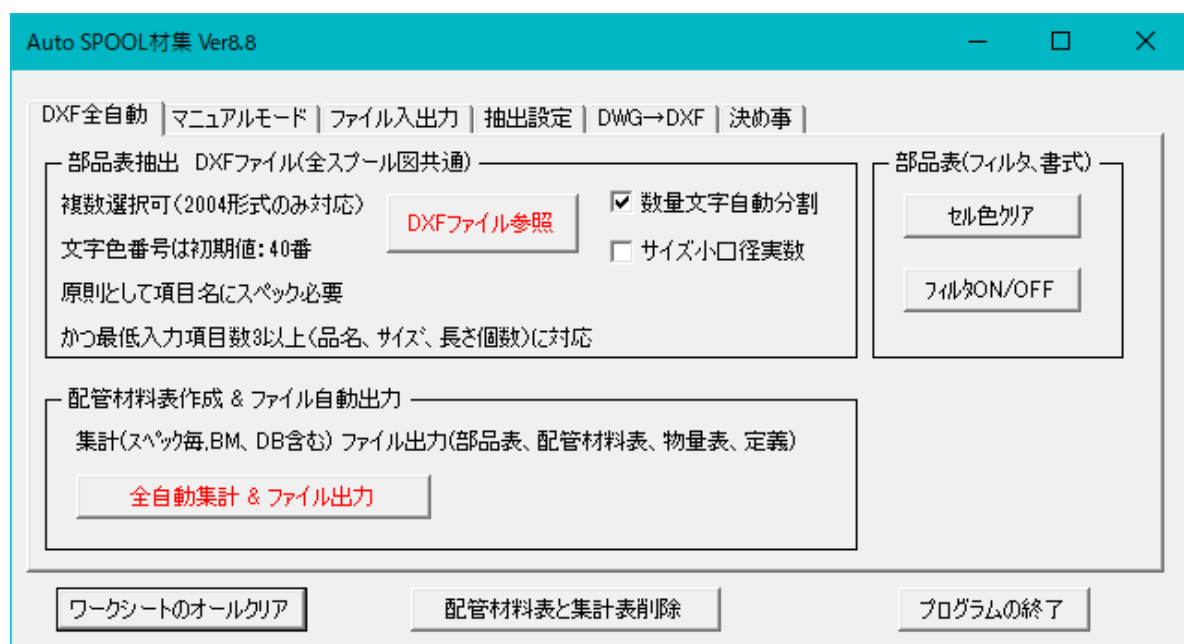
4 システム概要

この材料集計システムは、スプール図 (DWG、DXF) から材料集計をする際、材料集計を行う入力時間の短縮、集計作業の統一化と、入力ミスの削減を目的とした、配管材料集計が行える全自動支援システムです。従来の入力は、スプール図より 1 枚毎手入力で行っていた為、時間が掛かり入力ミス等あり、DB、BM の係数や計算式を毎回 JOB 毎で入力して修正、変更の場合操作が煩雑になり難点でありました。

複数の図面(何百枚、何千枚)から部品表を抽出し、集計、帳票出力を行うと同時に、部品表データ品質チェックを行う事で、間違いの無い手法で行え、簡単に操作し自動的に高速で確実に処理が行うことができます。

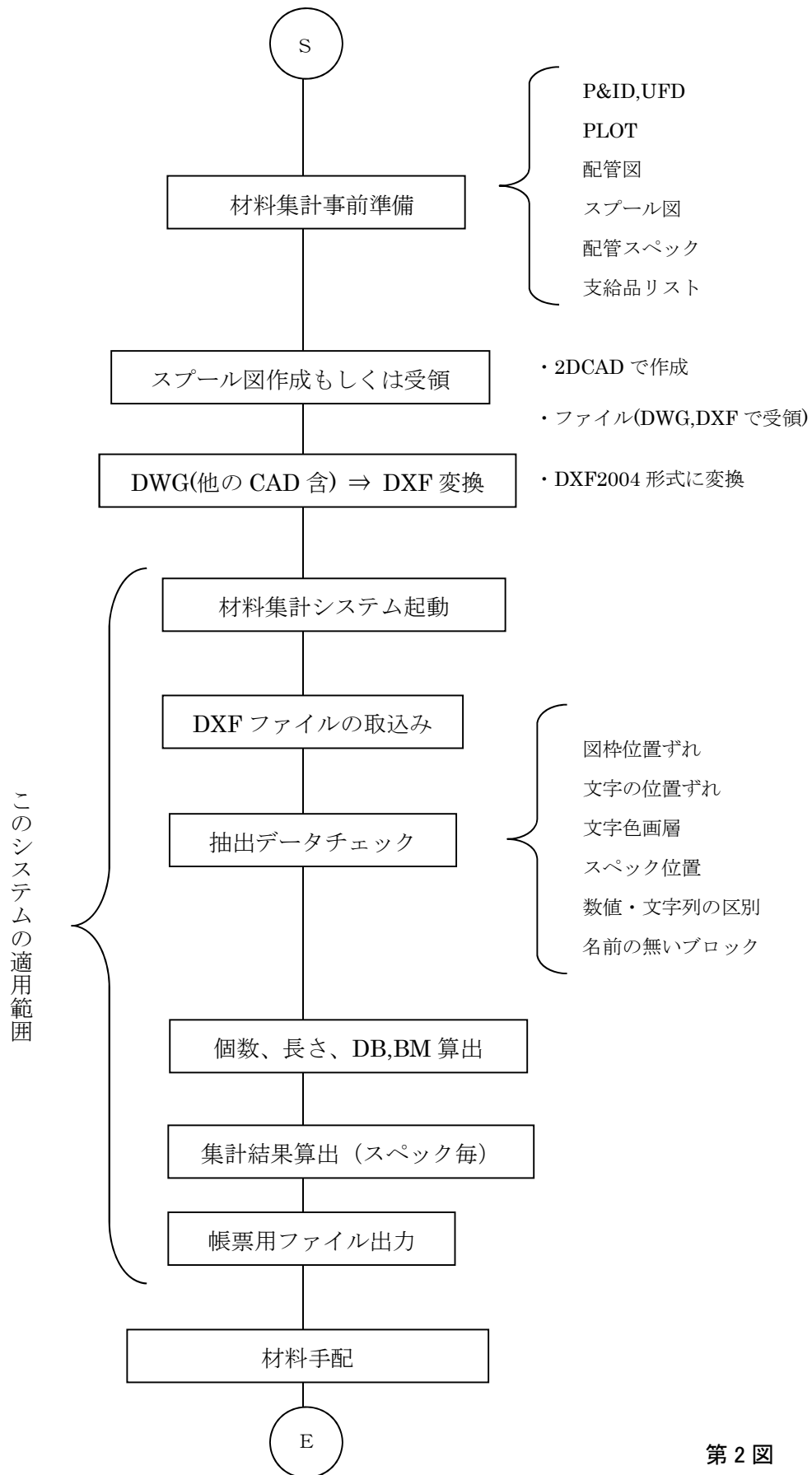
様々な CAD に対応する為、CAD データは DXF ファイルで読み込みます。

当初の 3DCAD の見積から現場変更分をこの材料集計システムで行うと、材料の増減差追加請求する際に手入力より説得力があります。



第 1 図

5 材料集計システムフロー（2DCAD(属性無し)で作成されたスプール図）



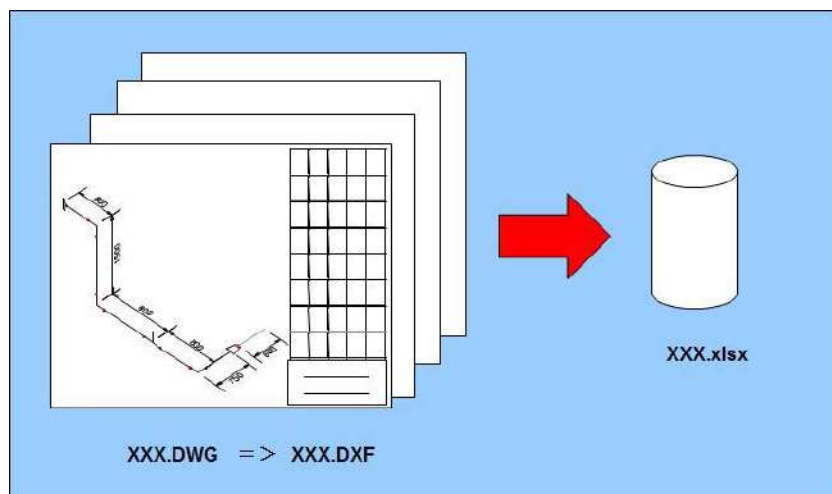
第 2 図

6 主な機能(2DCAD スプール図の場合)

- ① AutoCAD 等(DXF)にて作成したスプール図部品表自動抽出 (連続複数ファイル自動抽出)
- ② スペック毎の材料集計(スペック名がある場合)
- ③ DB (ダイヤインチ) 集計機能
- ④ BM (インチメータ) 集計機能
- ⑤ 11/2B×3/4B 等のサイズ左右自動分割 (例: 11/2B と 3/4B)
- ⑥ 数値文字列自動分割 (10m、5 s)
- ⑦ 帳票自動作成(集計結果)ファイル出力
- ⑧ 抽出する前のデータチェック (図枠の位置ずれ、文字色チェック、数値チェック)
- ⑨ 抽出したデータのチェック機能(スペック抜け、品名抜け)
- ⑩ 文字コード化けの自動変換
- ⑪ この他にユーザ側で予備 (1~3) 項目等を入力することによりエリア別、フロア別、流体別、材質別等に材料集計することが可能

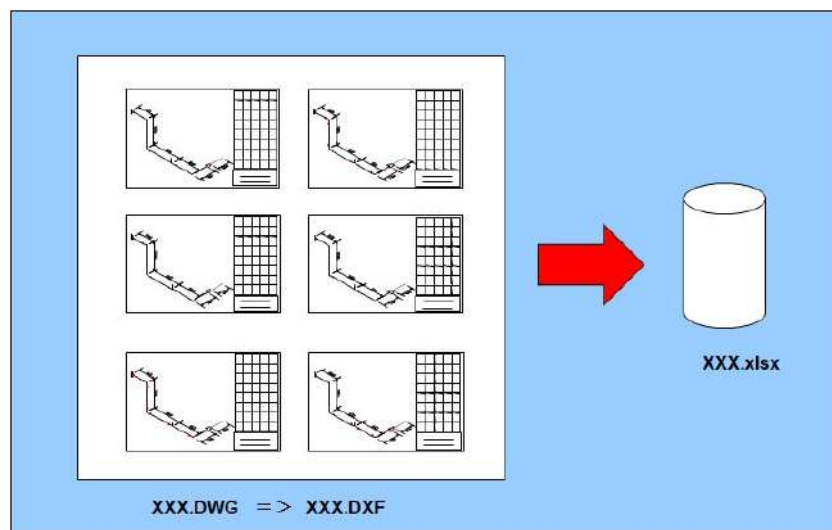
7 スプール図の DWG(DXF)の部品表抽出イメージ

7.1 1 スプール : 1 ファイルの場合



第 3 図

7.2 複数スプール図(縦横) : 1 ファイルの場合



第 4 図

8 スプール図の部品表の図枠

2段文字はマルチテキストで入力									
認定品、支給品の記述 部品表特外									
認定品、支給品	ボール番号	4B	SCS13A	1	AAK12345678910_10文字 88812345678910_10文字				
支給品	調整番号	2B		3					
	ボール番号	3/4B	SCS13A	10	JPI300 SW				
	S.B.N	M12x65L	SNB7/S45C	132s	3B用				
抽出しない場合は色を変える	90E	6B	STPT370-S	10					
	S.B.N	M12x65L	SNB7/S45C	32s	3/4B用				
	G	3/4B	V/#6596V-SES	8	JIS20K 4.5t RF用				
	F	3/4B	SPVC2A	8	JIS20K SOH-RF A形				
	ER	11/2Bx3/4B	STPT370-S	3	Sch80 BW				
	90E	3/4B	S25C	24	Sch80 SW				
	P	3/4B	STPG370-E	5.4M	Sch80 PE				
	P	11/2B	STPG370-E	14.4M	Sch80 PE	B2b1B	----	----	----
	アースボンド	6B用		3	M22				
	パイプフュー	6B用	SB410/SS400	1	H=130				
	S.B.N	M22x120L	A193G616/A194G4	36s	6B用				
	G	6B	V/#N520-T7S	3	JIS20K 4.5t RF用				
	F	6B	SPVC2A	4	JIS20K SOH-RF A形				
	ER	8Bx6B	STPT370-S	2	Sch80 BW				
	TEE	6B	STPT370-S	1	Sch80 BW				
	90E	6B	STPT370-S	4	Sch80 BW				
	P	3B	STPT370-S	6.4M	Sch80 BE		H50		
	P	4B	STPT370-S	20.3M	Sch80 BE				
	P	6B	STPT370-S	100.2M	Sch80 BE	B2b3B	----	----	----
	ITEM	SIZE	MATERIAL	NO. REQ'D	REMARKS	スペック	1段・図番	予備1	予備2
***** (株) 殿									
*****設備					スペックは必ず必要				
*****工事					エリア等必要ない場合(----)とします				
AR-RR-15001-DR1									

スペック分かれる場合必ず必要

予備は断熱厚み等を入力

第 5 図

各項目の説明

- ① No. : 1 スプール図の部品行数 (自動付加)
- ② ファイル名 : スプール図のファイル名 (自動付加)
- ③ 規定・手配 : 認定弁、支給品、手配先等があれば入力
- ④ 品名 : ITEM 名称
- ⑤ サイズ : 母管サイズ、分岐サイズ、ボルトサイズ、ボルト長さ
- ⑥ 材質 : 配管材質 (原則必要)
- ⑦ 数量 : パイプ (M)、ボルトナット (S)、その他 (個)
- ⑧ 単位 : 数値、文字列分割機能にて自動分割 (デフォルト : 自動分割)
- ⑨ 備考 : スケジュール、接続形式、フランジタイプ等、特記事項
- ⑩ スペック : 配管スペック (原則的に必要)
- ⑪ エリア、図番 : エリア、図番が必要であれば入力
- ⑫ 予備 1 : 予備 1 (断熱等) 予備 1~3 は必要に応じて変更 (フロア、重量、塗装等)
ユーザ側で項目名変更可

自社で作成された 2DCAD で作成、もしくはエンジニアリング会社や設計会社から受領した CAD ファイルを予め共有フォルダ(サーバー、クラウド等)に保存します。

スプール図材料集計プログラムを起動し(第 1 図)、目的のファイルを選択(複数可能)し(第 3,4 図)、抽出が始まり、部品表の各項目の文字列を読み込みます。(第 5 図)

長さ個数は文字列を数値と単位に分割、複数ファイルがある場合は奇数偶数で色分け、抽出したファイル数を表示、全ファイルの部品が規則通りに抽出されます。(第 6 図)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	ファイル名	指定・手配	品名	サイズ	材質	数量	単位	備考	スペック	リア・図番	予備1	予備2	予備3
2	115-50EHM-4052.dxf		CAP	3/4B	SUS304	1		Sch80 Rc	A21A	---			
3	215-50EHM-4052.dxf		H.NFL	3/4B	SUS304TP-S	1		Sch80 L=100					
4	315-50EHM-4052.dxf	支保品	湯裏計	1B	TI-811	1		JIS10K					
5	415-50EHM-4052.dxf	認座弁 支保品	安全弁	3Bx4B	SV-801R	1		JIS10K					
6	515-50EHM-4052.dxf	認座弁 支保品	玉形弁	2/4B	SFVC2A	1		JPI100 SW					
7	615-50EHM-4052.dxf	認座弁 支保品	仕切弁	3B	SCPH2	1		JIS10K RF					
8	715-50EHM-4052.dxf	認座弁 支保品	仕切弁	3B	SCPH2	1		JIS10K RF					
9	815-50EHM-4052.dxf		S.B.N	W5/8x90L	SNB7/S48C	4	s	18用TD					
10	915-50EHM-4052.dxf		S.D.N	W5/8x90L	SNB7/S48C	16	s	3B用					
11	1015-50EHM-4052.dxf		S.B.N	W5/8x***L	SNB7/S48C	8	s	3B用(SV)					
12	1115-50EHM-4052.dxf		S.D.N	W5/8x90L	SNB7/S48C	0	s	4B用					
13	1215-50EHM-4052.dxf		S.B.N	W3/4x105L	SNB7/S48C	36	s	8B用					
14	1315-50EHM-4052.dxf		IG	1B	T# 1834R-GR-ESS	1		JIS10K 4.5t RF用					
15	1415-50EHM-4052.dxf		IG	3B	T# 1834R-GR-ESS	3		JIS10K 4.5t RF用					
16	1515-50EHM-4052.dxf		IG	1B	T# 1834R-GR-ESS	1		JIS10K 4.5t RF用					
17	1615-50EHM-4052.dxf		IG	3B	T# 1834R-GR-ESS	3		JIS10K 4.5t RF用					
18	1715-50EHM-4052.dxf		F	1B	SFVC2A	1		JIS10K SOP FF					
19	1815-50EHM-4052.dxf		F	3B	SFVC2A	3		JIS10K SOP FF					
20	1915-50EHM-4052.dxf		F	3B	SFVC2A	2		JIS10K SOP FF					
21	2015-50EHM-4052.dxf		45CUTBOSS	1B	SFVC2A	1		Sch80 SW					
22	2115-50EHM-4052.dxf		BOSS	3/4B	SFVC2A	1		Sch80 SW					
23	2215-50EHM-4052.dxf		CONN	1Bx3B	STPT370-S	1		Sch40 BW					
24	2315-50EHM-4052.dxf		CONN	3Bx4B	STPT370-S	1		Sch40 BW					
25	2415-50EHM-4052.dxf		TEE	3B	STPT370-S	1		Sch40 BW					
26	2515-50EHM-4052.dxf		90E	3/4B	SFVC2A	1		Sch80 SW					
27	2615-50EHM-4052.dxf		90E(S)	3B	STPT370-S	1		Sch40 BW					
28	2715-50EHM-4052.dxf		90E	3B	STPT370-S	2		Sch40 BW					
29	2815-50EHM-4052.dxf		F	3/4B	STPG370-S	0.4	M	Sch80					
30	2915-50EHM-4052.dxf		F	1B	STPG370-S	0.3	M	Sch80					
31	3015-50EHM-4052.dxf		F	3B	STPG370-S	0.5	M	Sch40					
32	3115-50EHM-4052.dxf		F	3B	STPG370-S	1.6	M	Sch40					
33	115-50EHM-4046.dxf		CAP	3/4B	SUS304	2		Sch80 Rc	A21A	---			
34	215-50EHM-4046.dxf		H.NFL	3/4B	SUS304TP-S	2		Sch80 L=100					
35	315-50EHM-4046.dxf	PEX8	TEE	3B	STPT370-S	-		Sch40					
36	415-50EHM-4046.dxf	PEX8	90E	3B	STPT370-S	-		Sch40					
37	515-50EHM-4046.dxf	PEX8	CONN	1Bx3B	STPT370-S	-		Sch40					
38	615-50EHM-4046.dxf	認座弁 支保品	玉形弁	3/4B	SFVC2A	2		JPI100 SW					
39	715-50EHM-4046.dxf	認座弁 支保品	安全弁	3B	SCPH2	1		JIS10K RF					
40	815-50EHM-4046.dxf	認座弁 支保品	仕切弁	3B	SCPH2	1		JIS10K RF					
41	915-50EHM-4046.dxf		SE	3B	SUS304	1		JIS10K用 4.5t					
42	1015-50EHM-4046.dxf		S.B.N	W5/8x90L	SNB7/S48C	32	s	3B用					
43	1115-50EHM-4046.dxf		S.D.N	W5/8x100L	SNB7/S48C	0	s	3B用(SD)					
44	1215-50EHM-4046.dxf		IG	3B	T# 1834R-GR-ESS	6		JIS10K 4.5t RF用					
45	1315-50EHM-4046.dxf		F	3B	SFVC2A	2		JPI100 SO RF					
46	1415-50EHM-4046.dxf		F	3B	SFVC2A	6		JIS10K SOP FF					
47	1515-50EHM-4046.dxf		BOSS	3/4B	SFVC2A	2		Sch80 SW					
48	1615-50EHM-4046.dxf		R.TEE	3Bx2B	STPT370-S	1		Sch40 BW					
49	1715-50EHM-4046.dxf		TEE	3B	STPT370-S	2		Sch40 BW					
50	1815-50EHM-4046.dxf		90E	3B	STPT370-S	1		Sch40 BW					
51	1915-50EHM-4046.dxf		90E	3B	STPT370-S	4		Sch40 BW					
52	2015-50EHM-4046.dxf		F	3/4B	STPG370-S	0.4	M	Sch80					
53	2115-50EHM-4046.dxf		F	3B	STPG370-S	0.8	M	Sch40					
54	2215-50EHM-4046.dxf		F	3B	STPG370-S	8.5	M	Sch40					
55	115-50EHM-4045.dxf		CAP	3/4B	SUS304	2		Sch80 Rc	B23AH	---			
56	215-50EHM-4045.dxf		H.NFL	3/4B	SUS304TP-S	2		Sch80 L=100					
57	315-50EHM-4045.dxf		ダミープレート	11/2B 用	SS400	2		□100x100x3t					



第 6 図

抽出後のチェックとしては、例えば、部品表にそれぞれ関連した部品名、数値、配管スペックの位置、文字色画層および空白マスの各チェックに加えて、スプール図にそれぞれ関連した図枠の位置ずれ、図面の改訂版数等の各チェック等が挙げられ、スペック名も部品表に割り当てられます。

次いで、得られた DB および BM を含む各部品データを、集計プログラムにより配管のスペック毎に集計して集計データをし、各社に沿った集計結果の帳票(スペック毎)作成と印刷ページ設定、ファイル出力まで自動で行います。(第 7 図)

材料集計終了後、工事量算出の為、DB,BM 等の物量表も作成します。(第 8 図)

その結果、複数のスプール図データに基づいてプラント用の配管を生産する際に、各スプール図に帰属した各部品表からの部品集計の入力時間の短縮と、集計作業の統一化と、帳票出力と、入力ミスの削減と早期の材料発注と工事量算出が可能となります。

9 抽出データ品質チェック機能

抽出された部品表のデータの自動的チェックを行い、「エラー」があれば警告を表示させ、品質向上につなげる為の機能

- ① 図枠位置ずれ：文字座標位置ずれ防止
- ② 文字色画層：抽出する文字が指定されているか
- ③ 数値文字列の判別：文字位置ずれの確認と数値かどうかのチェック
- ④ 名前の無いブロック：複合図形の文字列の文字がある可能性がある為
- ⑤ スペック名抜け：各ファイルの先頭と最終行でスペック名があるかの確認
- ⑥ 品名、材質等の入力ミスチェック：帳票出力の際にソートで確認
- ⑦ 図面内(左側)に抽出部品表の文字列検出：部品表を分けてある場合のチェック
- ⑧ 文字コード化けの自動変換： AutoCAD 特有の文字コード：%%c %%D "×"など

XXXXXXXXX株式会社 様向

作成：平成XX年XX月XX日

「配管材料表」

SPEC: A21A

NO	品 名	材 質	仕 様	サイズ(B)		数 量 (NET)	単 価	金 額	備 考
				第1	第2				
1 P		STPG370-S	Sch40	8	-	1.6 m			-
2 P		STPG370-S	Sch40	3	-	9.0 m			-
3 P		STPG370-S	Sch40	2	-	0.8 m			-
4 P		STPG370-S	Sch80	1	-	0.3 m			-
5 P		STPG370-S	Sch80	3/4	-	0.8 m			-
6 90E		STPT370-S	Sch40	2	-				既設
7 90E		SFVC2A	Sch80 SW	3/4	-	1			-
8 90E		STPT370-S	Sch40 BW	8	-	2			-
9 90E		STPT370-S	Sch40 BW	3	-	4			-
10 90E		STPT370-S	Sch40 BW	2	-	1			-
11 TEE		STPT370-S	Sch40	3	-				既設
12 TEE		STPT370-S	Sch40 BW	8	-	1			-
13 TEE		STPT370-S	Sch40 BW	3	-	2			-
14 R TEE		STPT370-S	Sch40 BW	3	2	1			-
15 CON.R		STPT370-S	Sch40	4	3				既設
16 CON.R		STPT370-S	Sch40 BW	8	4	1			-
17 CON.R		STPT370-S	Sch40 BW	4	3	1			-
18 BOSS		SFVC2A	Sch80 SW	3/4	-	3			-
19 45OUTBOSS		SFVC2A	Sch80 SW	1	-	1			-
20 H.NPL		SUS304TP-S	Sch80 L=100	3/4	-	3			-
21 CAP		SUS304	Sch80 Rc	3/4	-	3			-
22 F		SFVC2A	JIS10K SOP FF	8	-	2			-
23 F		SFVC2A	JIS10K SOP FF	3	-	9			-
24 F		SFVC2A	JIS10K SOP FF	1	-	1			-
25 F		SFVC2A	JPI300 SQ RF	3	-	2			-
26 SB		SUS304	JIS10K用 4.5t	3	-	1			-
27 G		T#1834R-GR-ESS	JIS10K 4.5t RF用	8	-	3			-
28 G		T#1834R-GR-ESS	JIS10K 4.5t RF用	4	-	1			-
29 G		T#1834R-GR-ESS	JIS10K 4.5t RF用	3	-	9			-
30 G		T#1834R-GR-ESS	JIS10K 4.5t RF用	1	-	1			-
31 S.B.N		SNB7/S45C	W3/4x105L	8B用	-	36 s			-
32 S.B.N		SNB7/S45C	W5/8x***L	30B用 (30V)	-	8 s			-
33 S.B.N		SNB7/S45C	W5/8x100L	30B用 (30V)	-	8 s			-
34 S.B.N		SNB7/S45C	W5/8x90L	4B用	-	8 s			-
35 S.B.N		SNB7/S45C	W5/8x90L	3B用	-	48 s			-
36 S.B.N		SNB7/S45C	W5/8x90L	16B用 (16V)	-	4 s			-
37 仕切弁		SCPH2	JIS10K RF	8	-	1			認定弁 支給品
38 仕切弁		SCPH2	JIS10K RF	3	-	2			認定弁 支給品
39 玉形弁		SFVC2A	JPI300 SW	3/4	-	3			認定弁 支給品
40 温度計		TI-811	JIS10K	1	-	1			支給品
41 安全弁		SV-801B	JIS10K	3	4	1			認定弁 支給品
42 逆止弁		SCPH2	JIS10K RF	3	-	1			認定弁 支給品
43 90E (S)		STPT370-S	Sch40 BW	8	-	1			-
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									

第 7 図

物量表

SPEC	合計/BM	合計/DB	PIPE長	PIPE/AVB
TG1B	1878.1	4598	940.9 m	1.99
TG1D	240.4	891.5	211.7 m	1.13
TP1A	16	30.5	12.0 m	1.33
TP4A	1393.8	1913.5	317.3 m	4.39
TP5A	7	51	5.9 m	1.18
TS1B	1597.15	3843	1235.9 m	1.29
TS4T	3	6	1.0 m	3
合計:	5,136	11,334	2725.0 m	1.89

第 8 図

10 このプログラムの利点

- ① 表計算ソフトによる部品表を手入力する必要が無い為、入力ミスが無い
- ② 抽出データの自動チェックにより、部品表の入力ミスが素早く確認ができる
- ③ 抽出したデータが見やすいのでチェックがし易い (A,B呼称で自動ソート機能)
- ④ 高速で処理が可能 (DXFに変換後)

スプール図：1000枚⇒約5分で集計完了 (図面の手直しが無い場合)

- ⑤ 1次集計、2次集計という作業は必要無い
- ⑥ スプールを修正しても、瞬時に集計が可能
- ⑦ 計算式、手入力していない為、部品表、帳票のファイル容量が少ない
- ⑧ スプール図用紙枠の標準化、協力業者にも共通図枠としても使える

12 その他の開発したプログラム

下記に示す、2DCAD スプール図、EYECAD®だけではなく、3DCAD (Isogen®)で出力されたスプール図でも部品表抽出と集計が出来るシステムを用意しており、これはプラント系 3DCAD を所有していない場合でも、CAD 図面 (DWG, DXF) ファイルを受領すれば適用することが出来ます。

また、予算取り材集(スペック自動割当て)、サポート図材集、CAD 図面から情報抽出等のシステムを準備しています。

開発したプログラム群

	プログラム	内容
1	予算取り材集(現場、P&ID 図面無し)	入力シートに記載しスペック(材質、備考欄)を自動割当
2	2DCAD で作成されたスプール図(アイソメ)部品表抽出と集計	完全自動集計で手拾いの必要性が無い
3	EYECAD®で出力されたスプール図の部品表抽出と集計	現場でのスプール図の手直しの際に瞬時に材集
4	Isogen®で出力されたスプール図の部品表抽出と集計	現場でのスプール図の手直しの際に瞬時に材集
5	2D スプール図スペック割当て(材質、備考欄)	スプール図にスペック(材質、備考欄)を自動割当
6	サポート材料集計	サポート標準図等から、鋼材と長さを抽出
7	部品表新旧比較	材料新旧増減差の確認
8	各種図面から情報収集	図面の絵の中からサポートタグ、ライン No を抽出する

第 1 表

PDF の図面については、文字データが埋め込まれていない場合が多く、画像データとして取り扱い、画像処理プログラムによる文字認識を行うと、文字フォント、文字の縦横比、文字の区切り位置、誤認識(1 と I、0 と O)等があり、罫線も文字認識される場合があり、まだ文字列の認識に課題が残ります。

13 最後に

このシステムを利用して、帳票(集計表)と e コマースに繋げる事も可能であり、スプール毎の部品表をメンテナンスデータとしても使用することも出来ます。

また、現状の設備を 3D スキャンによる点群から配管部品にデータ変換した際に、スペックシートから材質データを割り当てることで、改造工事等の初期見積への対応も可能です。

工事完了後に 2D 修正分のスプール図を 3DCAD に反映させれば、工場と 3D とのデジタルツインが実現し、運転データ、保全等のメンテナンスに繋げることが出来るが、3D データを常に更新しないといけないという課題があるが、今後そのような方向になるのであろう。

スプール図で配管材料集計を手入力で効率が悪い、お困りの事、各社、JOB 毎のカスタマイズ、材料集計依頼等に興味が御座いましたら連絡頂けると幸いです。

<本文中に出てくるソフトウェアについて>

AutoCAD (DWG, DXF 含む) : AutoDESK 社製品 CAD ソフトウェア

PDF : アドビシステム

EYECAD®: 日本インターグラフ株式会社の登録商標です。

Isogen®: アメリカ合衆国およびその他の国に所在する Intergraph Corporation またはその子会社の登録商標です。

EXCEL : マイクロソフト社製